

令和4年5月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和4年5月26日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時54分

2 場 所

市役所西館 大会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 飯盛委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 なし

4. 会議出席職員

池田教育部長 秀島学校教育担当部長 高塚教育総務課長 楠田保育幼稚園課長 空閑生涯学習課長 吉岡文化課長 西教育総務課副課長 於保保育幼稚園課副課長 福元生涯学習課副課長 土井教育総務課庶務係長

5. 傍聴者

1名

6. 教育長の報告事項

- ・コロナについては5月に入ってから子どもたちの教育活動、保育の活動に影響はない。
- ・アメリカで起きた銃乱射事件について、18歳の青年が何で殺害に至ったのか。日本では18歳から成人。小城市の教育で0歳児から15歳までの義務教育期間で18歳のときには成人になる力をつけておかなければならない。
- ・今バーチャルという空想世界のゲームも多々あり、現実と空想の世界を間違ってしまう可能性もある。
- ・3日、第68回知覧特攻基地戦没者慰霊祭。約2時間の式典の中で遺族の方の話を聞き、命の尊さや家族の絆、人とのつながりや平和についてしっかりと正しく伝えていく必要があると感じた。これから戦争を知っている方が亡くなられていく中で、語り継いでいくことの必要性を強く感じた。
- ・6日、佐同教理事研修会・研究大会実行委員会。
- ・9日、全体朝礼、学校給食運営委員会（芦刈）。
- ・10日、課長副課長会議、市民図書館協議会。
- ・11日、学校経営計画説明会、国民スポーツ大会実行委員会総会。
- ・12日、第72回全国都市教育長協議会総会・研究大会（山口市）
- ・16日、教育委員辞令交付式、小城市幼児教育・保育ネットワーク会議、東部教育事務所管内定例教育長会のオンライン開催。
- ・17日、小城市公民館分館長合同会議。
- ・18日、定例校長会。
- ・19日、市教委三日月中学校訪問、小城市社会人権・同和教育研究協議会役員会、コロナ対策本部会議。
- ・20日、議会勉強会、第53回佐賀県人権・同和教育研究協議会総会・研修会。
- ・22日、芦刈観瀾校、砥川小学校、小城中学校体育大会開催。

- ・24日、「おはなし会三日月」文部科学大臣表彰、中林梧竹記念館協議会、小城市歴史資料館協議会。
- ・25日、新入学児童図書贈呈式（小城ロータリークラブ）、社会教育委員の会議。
- ・26日、定例教育委員会、青少年育成市民会議常任理事会、令和4年度佐賀県国公立幼稚園こども園会総会研修会。
- ・今後の予定として、27日、子どもの安全を地域で見守る会。29日、牛津中学校体育大会、30日、県職員課岩松小学校、砥川小学校訪問、子供の読書活動優秀実践校として晴田小学校が表彰、31日、令和4年度佐賀県公民館連合会総会、学校給食運営委員会（小城）。
- ・第72回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会について、教職員の資質能力の向上等と学校における働き方改革が今大きな課題となっている。教職員の資質能力向上については、免許更新制の廃止が7月1日から施行され、研修の充実が図られる。また、資質向上に関する指導、助言に対する規程も整備するという。そして教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律も4月1日から施行されている。
- ・学校における働き方改革では、部活動改革について土日は地域で指導を行うよう移行する活動もある。現状を基に多様化する価値観や考え方の中ですり合わせをしながら、地域の受け皿、体制、現実的な問題など十分に考えて、最終的には子どもたちのことを考えて部活動がどういう位置づけにあるか改めて考えながらやっていく必要がある。
- ・学校は学びの場であり、児童生徒の力をつける場。15歳で卒業するときどのくらいどのような力をつけているかは非常に大きい。授業や体験活動、集団生活など体験が大きな効果を持ち、部活動もまさにリアルな経験になる。多くの人に関わってくれればよいが、そこに学校の先生が全く関わらないというのは大きく考えるべきことだと思う。
- ・小学校の適正規模、適正配置等について、小城市の中でも小さい学校があり、コミュニティーや学校の特性を生かしながら学校を続けていく必要が当然出てくる。これは本当に地域の実情に応じたきめ細かな分析をしながらやっていかなければいけないということで、改めてこのことについても考えさせられた。

【結果】

承認

7. 議 事

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

【結果】

承認

【議案第1号】

小城市就学援助医療費支給事務取扱規程の一部を改正する告示

◇教育総務課長が説明

申請様式の押印見直し及び再交付申請に関する規定を追加するため、小城市就学援助医療費支給事務取扱規程の一部を改正する必要がある。

現行の第3条の医療券の交付申請の条文には、医療券の交付請求と交付申請の手続が一緒に入っていたが、改正後では、第3条で医療券の交付申請を、第4条で医療券の交付請求と2つの条文に分けている。

また、第8条には、医療券の再交付申請の条文を追加し、これらの申請書の申請者押印を廃止する。

【結果】

承認

第2 報告事項

【報告第7号】

令和4年度「小城市の教育」について

◇教育総務課長が説明

令和4年度の小城市教育の基本方針に基づき、教育要覧「小城市の教育」を作成している。

この後、関係機関に配布する予定をしているため、報告する。

資料については、事前に委員さんにはお配りしていたと思うので、何かお気づきの点があれば、教えていただきたい。

【結果】

了承

【報告第8号】

小城市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

◇教育総務課長が説明

小城市教育委員会評価委員会委員の退任に伴い、小城市教育委員会評価委員会設置要綱第3条及び小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき委員を決定したため、古川委員の後任として、中原典嗣氏を選任している。

任期は令和4年6月1日から令和5年3月31日までとなっている。

【結果】

了承

8. その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

①佐賀県人権・同和教育研究協議会「第1回人権・同和教育・啓発に関する研修会(A)」及び「第2回人権・同和教育推進に関する研修会(B)」後援申請。

②小城市文化連盟「第12回小城市ふれあい芸能まつり」後援申請。

③小城市青少年育成市民会議「子どもの安全を地域で見守る会」後援申請。

④佐賀子ども劇場「佐賀子ども劇場の鑑賞例会および自主活動」後援申請。

⑤九州国公立幼稚園・こども園会及び佐賀県国公立幼稚園・こども園会「第63回九州国公立幼稚園・こども園回教育研究大会佐賀大会」後援申請。

⑥佐賀県母親大会実行委員会「第59回佐賀県母親大会」後援申請。

⑦佐賀県高等学校体育連盟「令和4年度第60回佐賀県高等学校総合体育大会」後援申請。

⑧佐賀県教育委員会委員長「令和4年度高校進学相談会」後援申請。以上、8件の後援承認。

【結果】

了承

(2) 令和5年小城市20歳の集い(仮称)開催要項

◇生涯学習課長が説明

名称はまだ仮称だが、主催と主管はこれまでどおり小城市と小城市教育委員会、生涯学習課で、事務等については各公民館係で行っていく。

開催日時は令和5年1月8日(日)、各会場、受付を12時から行い、開式を12時30分からとしている。

会場については、例年同様、小城会場は小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぷらっと小城」の2階天山ホール、三日月会場が小城市生涯学習センター「ドゥイング三日月」多目的ホール、牛津会場が小城市牛津公民館ホール、芦刈会場が小城市芦刈地域交流センター「あしばる」の多目的ホール。

対象者は、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの方で、こちらも例年同様、小城市に住所を有する方、もしくは小城市内の学校に在籍、または卒業された方で、小城市で参加を希望される方としている。

この開催要項に基づき、対象者による企画運営委員会を組織し、今後各公民館職員とともに、企画及び運営を行っていく。

教育委員の皆様には名称が決まり次第ご報告させていただき、また、開催時期が近づいたら、式へのご出席をご案内するので、よろしくお願ひしたい。

【結果】

了承

9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 6月23日(木) 午前9時30分～

【場 所】 小城市役所 西館2階 大会議室

10 議事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について(非公開)

【承認】

【議案第2号】

令和4年第2回小城市議会定例会における教育委員会所管議案について

【承認】

第2 協議事項

【協議第1号】

就学援助(準要保護)の認定について

【了承】

第3 報告事項

【報告第9号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第10号】

教育委員会事務局職員の育児休業について

【了承】